**「事業法人向けクロスボーダー円建て決済サービスに関するアンケート調査」**

資料Ｃ

**調査票**

**【ご回答者】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会社名 |  | 部署名 |  |
| 氏　名 |  | 役　職 |  |
| E-mail | 　　　　　　　　　　　＠ | 電話番号 |  |
| 会社住所 | 〒　　　　　　 |

---------------------------------------------------------------------------------------------------

**貴社の概要について**

**問１**　**貴社の業種について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1繊維　□2木材・木製品　□3紙・パルプ　□4化学　□5石油・石炭製品　□6窯業・土石製品　□7鉄鋼　□8非鉄金属　□9食料品　□10金属製品　□11はん用・生産用・業務用機械　□12電気機械　□13輸送用機械　□14その他製造業　□15建設　□16不動産・物品賃貸　□17卸・小売　□18運輸・郵便　□19情報通信

□20電気・ガス　□21対事業所サービス　□22対個人サービス　□23宿泊・飲食サービス　□24鉱業

□25その他（　　　　　　　　　　　　）

**問２　貴社の資本金（前年度決算期）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□11千万円未満　□21千万円以上～1億円未満　□31億円以上～10億円未満　□410億円以上～100億円

未満　□5100億円以上～500億円未満　□6500億円以上～1,000億円未満　□71,000億円以上～

**問３**　**貴社の売上高（前年度決算期）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□11億円未満　□21億円以上～10億円未満　□310億円以上～100億円　□4100億円以上～1,000億円未満

□51,000億円以上～5,000億円未満　□65,000億円以上～1兆円未満　□71兆円以上～

**問４**　**貴社の海外売上高比率（前年度決算期）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□110％未満　□210％以上～20％未満　□320％以上～30％未満　□430％以上～40％未満

□540％以上～50％未満　□650％以上～60％未満　□760％以上～70％未満　□870％以上～80％未満

□980％以上～90％未満　□1090％以上

**問５**　**貴社の海外拠点数について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□15未満　□25以上～10未満　□310以上～20未満　□420以上～30未満　□530以上～40未満

　　　□640以上～50未満　□750以上～60未満　□860以上～70未満　□970以上～80未満

□1080以上～90未満　□1190以上～100未満　□12100以上

**問６**　**貴社の海外拠点の所在国・地域について、該当する項目を全てチェックして下さい。**

　　　□1中国　□2香港　□3台湾　□4韓国　□5シンガポール　□6タイ　□7マレーシア　□8その他アジア

　　　□9北米　□10中南米　□11西欧　□12中・東欧　□13ロシア・CIS　□14アフリカ　□15その他（　　　　　　　）

**貴社グループにおける円資金管理について**

**問７**　**貴社の主たる円資金口座の開設先について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1本邦金融機関の国内本支店　□2外資系金融機関の国内支店　□3その他（　　　　　　　　　　　　　）

**問８**　**貴社の海外拠点の主たる円資金口座の開設先について、該当する項目を一つチェックして下さい。海外拠点については、円資金量が最も多い拠点についてご回答下さい。**

　　　□1本邦金融機関の海外支店　□2外資系金融機関の海外本支店　□3本邦金融機関の国内非居住者口座

□4外資系金融機関の国内非居住者口座　□5円資金口座を有する海外拠点なし

□6その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問９**　**（問８で海外拠点が円資金口座を保有していると回答された場合）当該円資金口座開設先の金融機関が、問７で回答された貴社における円資金口座開設先の金融機関と同一であるか否かについて、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1同一の金融機関である（例：同じA銀行の本支店）　□2異なる金融機関である（例：A銀行とB銀行）

**問10**　**貴社グループにおける、円資金のキャッシュマネジメントについて、以下ご回答下さい。小問（2）以降については、キャッシュマネジメントを実施している場合にご回答下さい。**

**(1)** **円資金のキャッシュマネジメントの実施状況について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1特に実施していない　□2国内の円資金管理を集約

□3海外の地域単位（アジア等）で円資金管理を集約　□4グローバルに円資金管理を集約

**(2)** **円資金管理を行う統括拠点の所在国・地域について、該当する項目を全てチェックして下さい。**

　　　□1日本　□2中国　□3香港　□4台湾　□5韓国　□6シンガポール　□7タイ　□8その他アジア　□9北米

　□10中南米　□11西欧　□12中・東欧　□13ロシア・CIS　□14中東　□15アフリカ　□16その他（　　　　　　　）

**(3)** **((2)で複数の統括拠点を有すると回答された場合)円資金管理を行う各統括拠点における円資金口座開設先の金融機関の同一性について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1同一の金融機関の円資金口座に集約済み　□2複数の金融機関の円資金口座を保有

**(4) キャッシュマネジメントのシステムの供給元について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1本邦金融機関　□2外資系金融機関　□3システムベンダー　□4自社開発

□5特にシステムは導入していない　□6その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**(5) ((4)で何らかのシステムを導入していると回答された場合)当該システムがマルチバンク機能（複数の金融機関口座の間で資金移動等が可能）を有するか否かについて、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1マルチバンク機能を有する　□2マルチバンク機能は有していない

**貴社における金融機関によるクロスボーダー円建て決済サービス（送金・着金）の利用状況について**

**問11　貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金【円資金の流れ：海外⇒国内】について、以下ご回答下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。小問（2）以降は、円建て着金の実績がある場合にご回答下さい。**

**(1) 円建て着金の頻度について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1実績なし　□2毎営業日　□3週に一度　□4月に一度　□5四半期に一度　□6半期に一度　□7年に一度

**(2) 円建て着金の目的について、該当する項目を全てチェックして下さい。**

　　**＜貴社海外拠点からの着金＞**

□1輸出代金受取り　□2知的財産権等使用料受取り　□3その他サービス受取り　□4.配当金・利子受取り　□5貸付金の回収　□6グループ内のキャッシュマネジメントに伴う円資金の集中・配分

□7その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**＜海外取引先からの着金＞**

□1輸出代金受取り　□2知的財産権等使用料受取り　□3その他サービス受取り　□4.配当金・利子受取り　□5貸付金の回収　□6その他（　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**(3) 着金全体（全通貨建て）に占める円建て着金の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□110％未満　□210％以上～20％未満　□320％以上～30％未満　□430％以上～40％未満

□540％以上～50％未満　□650％以上～60％未満　□760％以上～70％未満　□870％以上～80％未満

□980％以上～90％未満　□1090％以上

**(4) 円建て着金全体に占める他行からの着金（貴社の円資金口座開設先とは異なる金融機関からの着金）の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1ゼロ（全て同一金融機関の別口座からの着金）　□2～20％未満　□320％以上～40％未満　□440％以上～60％未満　□560％以上～80％未満　□680％以上～100％未満　□7100％（全て他行からの着金）

**(5) 円建て着金一件あたりの平均的な金額について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1100万円未満　□2100万円以上～1,000万円未満　□31,000万円以上～5,000万円未満

□45,000万円以上～1億円未満　□51億円以上～5億円未満　□65億円以上～10億円未満　□710億円以上

**問12　貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金【円資金の流れ：国内⇒海外】について、以下ご回答下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。小問（2）以降は、円建て送金の実績がある場合にご回答下さい。**

**(1) 円建て送金の頻度について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1実績なし　□2毎営業日　□3週に一度　□4月に一度　□5四半期に一度　□6半期に一度　□7年に一度

**(2) 円建て送金の目的について、該当する項目を全てチェックして下さい。**

　　**＜貴社海外拠点宛＞**

□1輸入代金支払い　□2知的財産権等使用料支払い　□3その他サービス支払い　□4.配当金・利子支払い　□5出資・貸付け　□6グループ内のキャッシュマネジメントに伴う円資金の集中・配分

□7その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　**＜海外取引先宛＞**

□1輸入代金支払い　□2知的財産権等使用料支払い　□3その他サービス支払い　□4配当金・利子支払い　□5出資・貸付け　□6その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**(3) 送金全体（全通貨建て）に占める円建て送金の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□110％未満　□210％以上～20％未満　□320％以上～30％未満　□430％以上～40％未満

□540％以上～50％未満　□650％以上～60％未満　□760％以上～70％未満　□870％以上～80％未満

□980％以上～90％未満　□1090％以上

**(4) 円建て送金全体に占める他行宛送金（貴社の円資金口座開設先とは異なる金融機関宛の送金）の割合（件数ベース）について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1ゼロ（全て同一金融機関の別口座宛送金）　□2～20％未満　□320％以上～40％未満　□440％以上～60％未満　□560％以上～80％未満　□680％以上～100％未満　□7100％（全て他行宛送金）

**(5) 円建て送金一件あたりの平均的な金額について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

　　　□1100万円未満　□2100万円以上～1,000万円未満　□31,000万円以上～5,000万円未満

□45,000万円以上～1億円未満　□51億円以上～5億円未満　□65億円以上～10億円未満　□710億円以上

**(6) 貴社が円建て送金を金融機関に依頼する主な時期（日本時間）について、該当する項目を一つチェックして下さい。なお、受取側の口座への着金予定日を「当日」としています。**

　　　□14営業日以上前　□23営業日前　□32営業日前　□4前営業日午前　□5前営業日午後　□6当日午前

□7当日12～15時　□8当日15～17時　□9当日17～19時　□10当日19～21時

**日本の夕方・夜間の時間帯におけるクロスボーダーでの円建て送金・着金の潜在的なニーズ等について**

**問13　日本銀行が運営する「日銀ネット」の認知・理解度について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1全く知らなかった（本アンケート調査で初めて知った）　□2名前は知っていたが中身は理解していない　□3ある程度中身を理解している　□4詳しく中身を理解している

**問14　(問13で「日銀ネット」を認知していた＜選択肢2～4＞と回答された場合)2016/2月より実施された「日銀ネット」の稼動時間拡大に関する認知度について、該当する項目を一つチェックして下さい。**

□1全く知らなかった（本アンケート調査で初めて知った）　□2取引先金融機関を通じて知っていた

□3新聞報道等の媒体を通じて知っていた　□4その他の経路で知っていた（　　　　　　　　　　　 ）

**問15　資料Ｂ「「日銀ネット」の稼動時間拡大を受けた事業法人の皆様のご活用例とメリット」をご一読いただいた上で、日本の夕方・夜間の時間帯における、現時点で想定される潜在的なご活用ニーズについて、以下ご回答下さい。**

**(1) 貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒国内】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。**

□1（<後払い契約>支払期日に変化がない場合）

支払い側に支払期日の前倒しを求めないことによる取引条件の改善・取引関係の強化

□2（<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）売上債権の回収前倒しによる所要運転資金の圧縮

□3（<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）売上債権の回収前倒しによる信用リスクの削減

□4（先払い契約の場合）在庫期間の短縮による所要運転資金の圧縮

□5円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化

□6日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）

□7日本と海外の休日の相違による急ぎの対応

□8決算締め日における決算反映のための当日処理

□9システム障害や災害発生時等における緊急対応

□10その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□11現時点でニーズは無い

**(2) 貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金ニーズ【円資金の流れ：国内⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。**

□1（<後払い契約>支払期日に変化がない場合）買入債務の支払い繰り延べによる所要運転資金の圧縮

□2(<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）支払いの迅速化による取引条件の改善･取引関係の強化

□3（先払い契約の場合）仕入期間の短縮

□4円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化

□5日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）

□6日本と海外の休日の相違による急ぎの対応

□7決算締め日における決算反映のための当日処理

□8システム障害や災害発生時等における緊急対応

□9その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□10現時点でニーズは無い

**問16　夕方・夜間の時間帯を活用した円建て送金・着金に関する課題について、以下ご回答下さい。**

**(1) 貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金【円資金の流れ：海外⇒国内】に関する課題について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。**

□1既存の決済慣行を前提に事務を構築しており、夕方・夜間の時間帯を活用する必要性が乏しいこと

□2日締め処理以降の着金に対応できないこと

□3期末日における決算処理に不都合が生じること

□4経理・財務スタッフの労務管理上、夕方・夜間の着金に対応できないこと

□5既存のキャッシュマネジメントシステムの変更に伴うコスト負担が発生すること

□6国内の低金利環境下、円資金を迅速に集中・配分するメリットが乏しいこと

□7クロスボーダーでの円建て商取引を行っていない、または少ないこと

（理由：　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□8グループ内で円資金管理を行っていない、または少ないこと

（理由：　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□9「日銀ネット」を利用する他行からの円建て着金がない、または少ないこと

□10取引先金融機関による決済サービスが対応していないこと

□11具体的な活用イメージが湧かないこと

□12その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**(2) 貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金【円資金の流れ：国内⇒海外】に関する課題について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。**

□1既存の決済慣行を前提に事務を構築しており、夕方・夜間の時間帯を活用する必要性が乏しいこと

□2日締め処理以降の送金に対応できないこと

□3期末日における決算処理に不都合が生じること

□4経理・財務スタッフの労務管理上、夕方・夜間の送金に対応できないこと

□5既存のキャッシュマネジメントシステムの変更に伴うコスト負担が発生すること

□6国内の低金利環境下、円資金を迅速に集中・配分するメリットが乏しいこと

□7クロスボーダーでの円建て商取引を行っていない、または少ないこと

（理由：　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□8グループ内で円資金管理を行っていない、または少ないこと

（理由：　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□9「日銀ネット」を利用する他行宛ての円建て送金を行っていない、または少ないこと

□10取引先金融機関による決済サービスが対応していないこと

□11具体的な活用イメージが湧かないこと

□12その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**問17　実際に夕方・夜間の時間帯を活用した円建て送金・着金を検討するに際し、ご要望されることについて、以下ご回答下さい。**

**(1) （問15（1）で着金ニーズ有り＜選択肢1～10＞と回答された場合）貴社海外拠点・海外取引先から貴社宛ての円建て着金【円資金の流れ：海外⇒国内】を検討するに際し、ご要望されることについて、該当する項目を全てチェックして下さい（国内の非居住者口座からの着金も含む）。**

□1国内の取引先金融機関から説明を受けたい

□2海外拠点に対して現地の取引先金融機関から説明をしてほしい

□3日本銀行から「日銀ネット」の稼動時間拡大について説明を受けたい

□4取引先企業に対して「日銀ネット」の稼動時間拡大について情宣してほしい

□5取引先金融機関に対して「日銀ネット」の稼動時間拡大について説明してほしい

□6既に夕方・夜間の時間帯を活用した円建て着金を実施済み

□7その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**(2) （問15（2）で送金ニーズ有り＜選択肢1～9＞と回答された場合）貴社から貴社海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金【円資金の流れ：国内⇒海外】を検討するに際し、ご要望されることについて、該当する項目を全てチェックして下さい（国内の非居住者口座宛て送金も含む）。**

□1国内の取引先金融機関から説明を受けたい

□2海外拠点に対して現地の取引先金融機関から説明をしてほしい

□3日本銀行から「日銀ネット」の稼動時間拡大について説明を受けたい

□4取引先企業に対して「日銀ネット」の稼動時間拡大について情宣してほしい

□5取引先金融機関に対して「日銀ネット」の稼動時間拡大について説明してほしい

□6既に夕方・夜間の時間帯を活用した円建て送金を実施済み

□7その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**貴社海外拠点にご確認いただきたい事項**

**※以下の項目については、貴社海外拠点に可能な範囲でご確認の上、お答えいただければ幸いです（海外拠点については、円資金量が最も多い拠点についてのみご確認ください）。なお、貴社で把握されている情報については、貴社にてお答えいただいても結構です。**

**――　海外拠点向けの英語版資料も添付しておりますので、適宜ご活用下さい。**

**問18　貴社海外拠点がクロスボーダーでの円建て送金を現地の金融機関に依頼する主な時期（現地時間）について、該当する項目を一つチェックして下さい。なお、受取側の口座への着金予定日を「当日」としています。**

　　　□14営業日以上前　□23営業日前　□32営業日前　□4前営業日午前　□5前営業日午後　□6当日午前

□7当日12～15時　□8当日15～17時　□9当日17～19時　□10当日19～21時

**問19　資料Ｂ「「日銀ネット」の稼動時間拡大を受けた事業法人の皆様のご活用例とメリット」をご一読下さい。その上で、日本の夕方・夜間の時間帯における、現時点で想定される潜在的なご活用ニーズについて、以下ご回答下さい。**

**(1) 貴社・取引先から貴社海外拠点宛ての円建て着金ニーズ【円資金の流れ：国内⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。**

□1（<後払い契約>支払期日に変化がない場合）

支払い側に支払期日の前倒しを求めないことによる取引条件の改善・取引関係の強化

□2（<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）売上債権の回収前倒しによる所要運転資金の圧縮

□3（<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）売上債権の回収前倒しによる信用リスクの削減

□4（先払い契約の場合）在庫期間の短縮による所要運転資金の圧縮

□5円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化

□6日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）

□7日本と海外の休日の相違による急ぎの対応

□8決算締め日における決算反映のための当日処理

□9システム障害や災害発生時等における緊急対応

□10その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□11現時点でニーズは無い

**(2) 貴社海外拠点から貴社・取引先宛ての円建て送金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒国内】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。**

□1（<後払い契約>支払期日に変化がない場合）買入債務の支払い繰り延べによる所要運転資金の圧縮

□2(<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）支払いの迅速化による取引条件の改善･取引関係の強化

□3（先払い契約の場合）仕入期間の短縮

□4円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化

□5日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）

□6日本と海外の休日の相違による急ぎの対応

□7決算締め日における決算反映のための当日処理

□8システム障害や災害発生時等における緊急対応

□9その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□10現時点でニーズは無い

**(3) 貴社の他の海外拠点・海外取引先から貴社海外拠点宛ての円建て着金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。**

□1（<後払い契約>支払期日に変化がない場合）

支払い側に支払期日の前倒しを求めないことによる取引条件の改善・取引関係の強化

□2（<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）売上債権の回収前倒しによる所要運転資金の圧縮

□3（<後払い契約>で支払期日が1日前倒される場合）売上債権の回収前倒しによる信用リスクの削減

□4（先払い契約の場合）在庫期間の短縮による所要運転資金の圧縮

□5円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化

□6日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）

□7休日の相違による急ぎの対応

□8決算締め日における決算反映のための当日処理

□9システム障害や災害発生時等における緊急対応

□10その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□11現時点でニーズは無い

**(4) 貴社海外拠点から貴社の他の海外拠点・海外取引先宛ての円建て送金ニーズ【円資金の流れ：海外⇒海外】について、主として該当する項目を最大三つチェックして下さい。**

□1（<後払い契約>支払期日に変化がない場合）買入債務の支払い繰り延べによる所要運転資金の圧縮

□2(<後払い契約>支払期日が1日前倒される場合）支払いの迅速化による取引条件の改善･取引関係の強化

□3（先払い契約の場合）仕入期間の短縮

□4円資金集中・配分の迅速化によるグループ内における円資金管理の効率化

□5日常的な急ぎの対応（急な依頼、事務不備等）

□6休日の相違による急ぎの対応

□7決算締め日における決算反映のための当日処理

□8システム障害や災害発生時等における緊急対応

□9その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□10現時点でニーズは無い

**最後に**

**問20　本アンケート結果は、弊行HPなどで公表することを予定しています。その際、回答者企業一覧として貴社名を掲載させていただくことの可否について、該当する項目を一つチェックして下さい。なお、ご承諾いただける場合であっても、公表される情報は貴社名のみであり、個別の回答内容が外部に公表されることはございません。**

□1社名のみ対外公表することは可能　□2社名を対外公表することは不可能

**問21　その他全般的に、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入下さい。**

**アンケート項目は以上となります。ご多忙の中、ご協力いただきましてありがとうございました。**